

「公認心理師」(仮称) 受験資格学部教育カリキュラム案

合計 46 単位

科目区分	科目名	単位数	備考
心理学基礎科目	心理学概論	2	必修
	心理学研究法	2	必修
	心理学統計法	2	必修
	心理学基礎実験実習	2	必修
	心理検査実習	2	必修
	心理面接実習	2	必修
	心理学発展科目	<b>A 基礎心理学関連科目</b> 学習心理学、知覚心理学、認知心理学、思考心理学、 言語心理学、比較心理学、生理心理学、神経心理学、 動物心理学、比較行動学、行動分析学、感性心理学、 感情心理学など	6
	<b>B 発達・教育心理学関連科目</b> 発達心理学、乳幼児心理学、児童心理学、青年心理学、 老年心理学、教育心理学、教育評価、教授心理学、 学校心理学など	6	選択必修
	<b>C 社会・産業心理学関連科目</b> 社会心理学、実験社会心理学、集団心理学、対人関係論、 家族心理学、コミュニティ心理学、産業心理学、 組織心理学、マスメディア心理学など	6	選択必修
	<b>D 臨床心理学関連科目</b> 臨床心理学概論、心理検査法、人格心理学、 発達臨床心理学、教育(学校)臨床心理学、 障害児(者)心理学、犯罪心理学、司法・矯正心理学、 医療心理学、心理療法論、深層心理学、 カウンセリング心理学、認知行動療法論、集団心理療法論、 健康心理学、ストレスマネジメント論など	8	選択必修 ただし、臨床 心理学概論 (2単位)を 必修とする。
	<b>E 隣接領域科目</b> 医学概論、精神医学概論、 教育学(学校教育制度論、教育経営学、社会教育学を含む)、 社会福祉学	4	選択必修 ただし、医学 概論、精神医 学概論のい ずれか 1 科 目を必修と する。
心理臨床・実践職 能科目	<b>心理臨床・実践職能論</b> (職務、責任、倫理、関連行政論を含む)	2	必修
	<b>心理臨床・実践領域実習</b> (医療、福祉、教育、司法・矯正、産業などの領域におけ る見学・体験実習)	2	必修 (2領域以上 計 60 時間 以上)

「公認心理師」(仮称) 受験資格大学院教育カリキュラム案

合計 38 単位

科目区分	科目名	単位数	備考
基幹科目	<b>基幹科目</b>	<b>8</b>	
	臨床心理学特論	2	必修
	臨床心理職関連行政・倫理特論	2	必修
	心理援助面接特論	2	必修
	心理アセスメント演習	1	必修
	心理学実践研究法演習	1	必修
展開科目	<b>援助技法関連科目</b>	<b>4</b>	選択必修
援助技法関連科目	カウンセリング特論、心理療法特論、グループ・アプローチ特論、コミュニティ・アプローチ特論、危機介入法特論、予防心理教育特論など		
臨床・実践領域関連科目	<b>A 医療保健領域関連科目</b>	<b>4</b>	選択必修
	精神医学特論	2	必修
	医療心理学特論、神経心理学特論、心身医学特論、臨床精神薬理学特論など		選択
	<b>B 教育領域関連科目</b>	<b>2</b>	選択必修
	学校心理学特論、スクール・カウンセリング特論、教育心理学特論、発達心理学特論、学生相談学特論など		
<b>C 福祉領域関連科目</b>	<b>2</b>	選択必修	
障害児(者)心理学特論、臨床心理地域援助特論、乳幼児・児童心理学特論、高齢者心理学特論、家族心理学特論など			
<b>D 司法・矯正領域関連科目</b>	<b>2</b>	選択必修	
司法・矯正心理学特論、犯罪心理学特論、人格心理学特論、司法・矯正関連行政論など			
<b>E 産業領域関連科目</b>	<b>2</b>	選択必修	
産業カウンセリング特論、組織心理学特論、社会心理学特論、人間関係学特論など			

科目区分	科目名	単位数		備考		
		A	B			
臨床心理援助 技法科目	<b>臨床心理援助技法科目</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	必修 ( ) は選択必修		
	個人心理療法科目	2	(2)			
	集団心理療法科目	2	(2)			
	臨床心理査定科目	2	(2)			
臨床・実践実習 科目	<b>臨床・実践実習科目</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	必修		
	<u>学内施設実習Ⅰ (M1 年前期)</u>	<u>45h</u>	1		1	
	①ロールプレイ*	5h				*面接・電話受付など
	②心理テスト実習など**	10h				**人格・知能テスト等
	③陪席 (インテーク面接)	5h				
	④ケースカンファレンス	25h				
	<u>学内施設実習Ⅱ (M1 年後期)</u>	<u>45h</u>	1		1	学内施設実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの担当ケースはM1からM2において最低3ケースの担当を必要とし、そのうち1ケースは子どもとすることが望ましい。担当ケースについては、個人スーパー・ビジョンを受ける
	①陪席、試行面接、インテーク面接、 ケース担当	15h				
	②ケースカンファレンス	30h				
	<u>学内施設実習Ⅲ (M2 年前期)</u>	<u>45h</u>	1		1	
	①ケース担当 (含施設運営実習)	15h				
	②ケースカンファレンス	30h				
	<u>学内施設実習Ⅳ (M2 年後期)</u>	<u>45h</u>	1		1	
	①ケース担当 (含施設運営実習)	15h				
②ケースカンファレンス	30h					
<u>学外施設実習Ⅰ (M2) (医療領域)</u>	<u>90h</u>	2				
①ガイダンス・見学実習	10h					
②参加実習 (一部・担当)	80h					
<u>学外施設実習Ⅱ (M2)</u> (福祉領域・教育領域・その他の領域)	<u>90h</u>	2		学外施設実習Ⅱにおいては、司法・矯正または産業領域などでの実習も含む		
①ガイダンス・見学実習	10h					
②参加実習 (一部・担当)	80h					

- ①科目区分における「臨床心理援助技法科目」と「臨床・実践実習科目」における、単位数のAは「資格試験の受験要件」を、Bは「修士修了の要件」を示す。
- ②「基幹科目」は5科目8単位が必修、展開科目の「援助技法関連科目」は、関連科目群から4単位選択必修、「臨床・実践領域関連科目」のAは4単位とし、「精神医学特論」(2単位)を必修とする。その他の「臨床・実践領域関連科目」(B~E)はそれぞれの領域内科目群から2単位以上の選択必修とする。なお、選択科目は1科目2単位とする。
- ③「臨床心理援助技法科目」の各科目2単位計6単位は資格試験受験要件としては必修とするが、修士修了の要件は2単位の選択必修とする。
- ④臨床・実践実習科目は8単位以上を必修とする。なお、学外施設実習Ⅰ、Ⅱの各2単位は資格試験の受験要件単位であるが、修士の修了要件ではない。したがって、修士修了要件は、計30単位とする。
- ⑤修士論文または大学院が定める研究論文等を提出し審査合格が資格試験要件となるが、その単位は受験資格要件の計38単位及び修士修了要件の計30単位には含まない。
- ⑥実習科目のhは、60分を意味する。